

一人ひとりがつながれば

大きな力になる



宇都宮健児さん(前日弁連会長)が
大阪自治労連春闘討論集会で講演



「憲法改悪の動きは、憲法の理念を定着させるチャンス」と訴える宇都宮さん

憲法改悪への一本道 暴走する安倍政権

12月18日に開催された大阪自治労連春闘討論集会で「安倍政権の暴走にストップをかけるには」と題して、宇都宮健児さんの記念講演が行われました。

講演で宇都宮さんは、原発の再稼働、社会保障の改悪、雇用破壊、教育の反動化など、安倍政権による反動的な

諸政策を分析するとともに、憲法改悪の動きと自民党政改憲草案の危険性を指摘し、改憲をめぐる情勢を明らかにしました。

生活保護制度・社会保障制度の改悪問題では、「不正受給に報道の目が行き、本来受給することができるのに受給

私たち一人ひとりは 微力だが無力ではない

また、特定秘密保護法の強行採決については、「情報公開の無いところに、民主主義社会はない」と強調。安倍政権の暴走にストップをかけるには、政治的立場・イデオロギー的立場を超えてつながることが重要と述べました。

最後に、「憲法改悪の動きはピンチであるが、あらためて日本国憲法の立憲主義の理念や国民主権・基本的人権の尊重・恒久平和主義の原理を日本社会に定着させるチャンスでもある。私たち一人ひとりは微力であっても、決して無力ではない。一人ひとりがつ

ながれば大きな力になる」と、締めくくりました。宇都宮さんは1月6日、都知事選への立候補を表明しました。

草の根からの共同で 未来を切り拓こう



大阪自治労連 執行委員長
大原 真

「維新政治を持ち込ませない」 の一点共同が実を結ぶ

明けましておめでとございます。昨年は安倍自公政権による暴走とそれに反撃する国民的運動の激しい綱引きの1年でした。特定秘密保護法などが強行されましたが、これに対する新たな反撃と共同の輪が広がり、厳しい中でも希望の光が見える状況です。大阪でも「維新政治を持ち込ませない」この一点での共同が堺や岸和田の市長選挙で実を結び、組織全体に活力が生まれています。

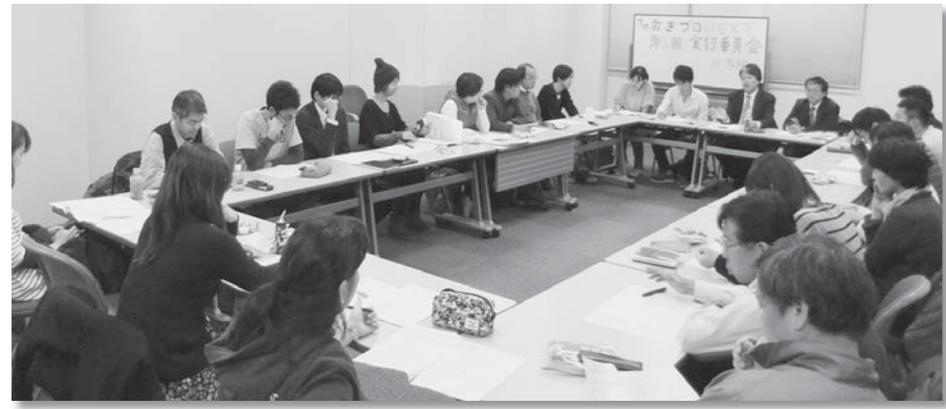
引き続き

「憲法を實行せよ」の大運動を大阪自治労連は「憲法を實行せよ」の大運動を提起し、昨年200回近い学習会が行われました。引き続き、憲法の諸条項を實行させる具体的なとりくみを進めていきます。安倍首相、橋下代表には戦前回帰と過激な規制緩和が共通しており、国内外からの批判が高まるでしょう。消費税問題や「大阪都」構想などで安倍政権、橋下・維新政治との闘いが続

きますが、自治体職員の働きがいと住民生活を守る運動を進めれば未来が切り拓かれると確信します。

おきなわで つながろう! もっともっと 盛り上がろう

「おもしろくて参加しやすい企画は？」
実行委員会も盛り上がっています



青年のみなさん! 「おきプロNEXT」大阪実行委員会です (^_^) 昨年、12月19日に第2回実行委員会を行いました。2009年のビデオを見て、楽しさが伝わってきました。今回、もっともっと盛り上がる「おきプロNEXT」にしたいなと気合十分です。そして、大阪の全ての自治体職場から青年の参加をめざします。現在、実行委員募集中。実行委員会では大阪の独自のイベント

企画や、本番までのプレ企画など相談します。問題は参加費用かな?できるだけ安くしたいです。全国の青年が沖縄に集合。ふれあい、交流し、様々なことを学んでいけたらと思います。新しく採用された人も、そうでない人も、みんな誘って「つながり」を広げましょう。これからの企画、楽しみにしてくださいね!(^^)!

自分の世界
広げよう!

おきプロNEXT

2014年6月13日(金)~15日(日)

6月13日 19:00~21:00 オープニングイベント
リゾートホテル茶谷ベイ

☆選べるコースもいっぱい(オプション・ツアー)

6月14日 16:00~18:00 ファイナルイベント
沖縄コンベンションセンター

問い合わせは大阪自治労連本部まで



ロゴ:熊谷 一会さん
(吹田市職労)

「おきプロNEXT」

気合十分 準備着々

今月のキーワード
中国百科検定

「あなたも今日から中国通に!」を合言葉に、日本中国友好協会が実施する検定試験。日本は中国をもっと知る、中国は日本をもっと知ってもらうという観点から、3月21日、全国3会場(東京、大阪、福岡)で実施。「日本と中国は古来より文化や経済を中心に切っても切れない関係であり、真の相互理解でこそ相互の信頼感が生まれます」としています。詳しくは日本中国友好協会。(ホームページ <http://www.jcfa-net.gr.jp/>)

ジェンダー平等にむけて
ジェンダー・ギャップ指数

世界経済フォーラム(WEF)は10月25日、世界各国の男女平等の度合いを指数化した2013年版「ジェンダー・ギャップ指数」を発表しました。日本の順位は調査対象136国中105位で、前回より4位下がりました。識字率や高校までの教育水準では世界1位ですが、女性の就労者や政治家が少ないことが全体の評価を下げています。